

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	サル包囲網 SNS 活用強化&有害鳥獣対策推進事業
事業主体 (連絡先)	木曾町役場 開田支所 振興係 (0264-42-3331)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 イ農業振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	884,177円 (うち支援金:615,000円)

事業内容

昨年の当該事業の反省から、より威力の高く連射性能の高い電動ガンを購入し、昨年貸し出した人のうちの希望者への交換を行った。また、返却された昨年の電動ガンを新規希望者に貸し出し、LINE グループへの登録を行って有害鳥獣対策グループの拡大を図り地域での追い払い意識を高めた。

有害鳥獣を圃場に寄せ付けない対策としてウルフピーを購入し、忌避剤としての効果を実証実験した。

- ・電動ガン購入数 15丁
- ・LINE グループ 50名
- ・試験圃場 開田高原末川髭沢地区 約1,900㎡

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 持ち運びやすさを保ちつつ威力の高い370連射の電動ガンにしたことでより長い時間追い払いが行えるようになった。
- ② 新規に貸し出した人にLINE グループに入ってもらい情報提供者を増やし、追い払い意識を高めることができた。
- ③ 忌避剤(ウルフピー)については、試験圃場に被害はなくアンケートより周辺の圃場への被害も無かったことから一定の効果を感じた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後もLINE グループの周知に努めメンバーを増やしていくとともに、収集できる情報を増やしていく。追い払いだけでなく大型檻等を利用した個体数調整もあわせて対策していく必要がある。



【貸し出した電動ガン一式】

【目標・ねらい】

- ① 追い払いの威嚇力強化
- ② 獣害対策チームのメンバー増加・意識向上
- ③ 忌避剤としての効果検証

※自己評価【C】

【理由】

- ・アンケート調査による有害鳥獣被害面積が昨年より増加してしまい、追い払いだけではなく個体数調整にもあわせて力を入れていく必要性を感じたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある